

(参考資料)

事業セグメント別の営業損益見通し

(単位:億円)

	平成16年度 (決算)		平成17年度 (今回見通し)	
	上期	年度	上期	年度
鉄鋼事業	1,939	4,563	2,450	5,050
エンジニアリング事業	97	53	70	60
都市開発事業	7	24	1	23
LSI事業	15	19	0	10
消去又は全社	4	11	19	57
営業利益	1,861	4,672	2,400	5,200

粗鋼生産量(JFEスチール)

	(単独ベース)	(連結ベース)
平成15年上期	1,341万t	1,516万t
平成15年下期	1,360万t	1,539万t
平成15年度通期	2,701万t	3,055万t
平成16年上期	1,394万t	1,580万t
平成16年下期	1,371万t	1,548万t
平成16年度通期	2,765万t	3,128万t

鋼材輸出比率(JFEスチール, 単独ベース)

(金額ベース)	
平成15年上期	40.7%
平成15年下期	40.4%
平成15年度通期	40.6%
平成16年上期	44.0%
平成16年下期	44.4%
平成16年度通期	44.2%

為替レート(円/\$)前提

平成16年度 : 1円の円高に対して、19億円程度の減益  
(ドル収支では、19億\$ / 年程度の受取超過)

平成17年度 : 1円の円高に対して、12億円程度の減益  
(ドル収支では、12億\$ / 年程度の受取超過)  
(上期分についてはほぼ全量を予約済み)  
計画は100円/\$で策定

鋼材平均価格(JFEスチール, 単独ベース)

平成15年上期	50.5千円/t
平成15年下期	50.5千円/t
平成15年度通期	50.5千円/t
平成16年上期	57.7千円/t
平成16年下期	65.7千円/t
平成16年度通期	61.7千円/t

有価証券含み損益(JFEホールディングス, 連結ベース)

平成15年上期末	405億円(含み益)
平成15年度末	690億円(含み益)
平成16年上期末	733億円(含み益)
平成16年末	1,232億円(含み益)

特別損益の内訳(JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	平成16年度 実績	平成17年度 見込み	(注)固定資産減損損失	753億円の内訳
退職給付引当金繰入額	221	0		
固定資産減損損失(注)	753	} 200	遊休資産	257
関係会社整理損失	278		貸貸資産	85
その他	318		ゴルフ場	410
合計	1,570		200	合計

借入金社債残高及び支払金利(JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	借入金社債残高		支払金利
平成15年上期末	19,954	平成15年上期	157
平成15年度末	18,374	平成15年度	282
平成16年上期末	17,397	平成16年上期	114
平成16年度末	14,467	平成16年度	217
平成17年度末見込み	12,300 程度	平成17年度	170 程度

設備投資と減価償却費(JFEホールディングス、連結ベース、単位:億円)

	平成16年度 実績	平成17年度 見込み
設備投資額	1,572	1,600程度
減価償却費	1,797	1,800程度

人員推移(JFEホールディングス、連結ベース、単位:人)

平成15年度末	52,557
平成16年度末	52,503

経常利益の増減内容(平成16年度実績、対平成15年度実績比較)

- a. 鉄鋼事業 + 2,418億円 (2,085億円 4,503億円)
- (内容) コスト変動 +330 (金融収支も含めたコスト変動額は、+425)
- 為替レート 120 (レート 113.6 107.2(為替予約前) 6.4円円高)  
別途営業外収益にて、為替予約差益有
- 原料価格 1,400
- 数量、構成、価格 +2,840 (オンリー1、ナンバー1等高級品の増加含む)
- 営業外など +205
- グループ会社他 +563 (電炉・資源・化学系グループ会社好調 他)
- b. エンジニアリング事業 + 33億円 (54億円 87億円)
- (内容) 固定費削減に加え、新商品や新規事業の開拓および海外事業の強化を図ったことに加え、環境事業の売上高増加の影響もあり、平成15年度実績に比べ、増益。
- c. 都市開発事業 + 9億円 (13億円 22億円)
- (内容) 分譲マンションの引渡の増加により増益。
- d. LSI事業 27億円 (45億円 18億円)
- (内容) デジタルカメラ向け製品の売上減少により減益。

以上